

大河原商業高等学校定時制通信

平成30年度 第2号

平成30年6月8日発行

発行者 教頭

○生徒総会が行われました

5月16日(水)、今年度の生徒総会が行われました。昨年の活動報告があり、また協議の結果、今年度の行事や予算が決まりました。充実したよりよい学校生活にするためには生徒の皆さんの積極的な参加が求められます。総会の準備・運営に何日も前から頑張ってくれた生徒会役員の皆さん、本当にご苦労さまでした。



○I 期中間考査が終わりました

5月22日(火)～25日(金)の4日間の日程でI 期中間考査がありました。今月8日(金)の成績会議の後、通知票にて今回の結果をお知らせします。言うまでもなく、その結果は進級や卒業を決めたいへん重要なものです。ただ、定期考査は日々の授業で習ったこと以外のことは決して問題には出ません。言い換えれば、日々の授業をきちんと受けることによって試験の点数を5点、10点と貯金のように貯めていけるようなものです。そう考えると、授業を受けなかったり、ただ終わるのを待っていたりするだけの受け方は、とてももったいないですね。次のI 期期末考査は7月の3日(火)からです。今度はここを目標に、一日一日点数を貯めていきましょう。

○定通総体壮行式が行われました

6月6日(水)4校時、第二体育館で定体連仙南大会、県大会の壮行式が行われました。各部の選手はユニフォーム姿で入場・整列し、部ごとに試合の日程や目標・決意を述べ、会場からは大きな激励の拍手が送られました。定時制の皆さんは多くが普段働いているので、土日に練習試合を行うことなども難しいですね。そのような環境の中で毎日一生懸命練習している成果を発揮する場として、本当に貴重な機会です。自分の力、チームの力を余すことなく発揮できれば、きっと勝利の方から近づいてくるはずです。選手の皆さんには悔いの残らない、スポーツマンシップにのっとった正々堂々とした戦いを期待したいと思います。



☆ 進学・就職課外スタート

今年度から進学希望者、就職希望者を対象とした課外授業がスタートしました。1日20分の短い時間ですが、1週間で100分ですから週に2回ある授業よりも長い時間になります。人間は記憶したものを1日後には半分以上忘れてしまうと言われていますが、1日以内であれば、ほんの少しの復習で完全に思い出すことができ、その記憶は、今度は1週間ぐらいたってもあまり消えないそうです。つまり毎日やることはとても効果的な勉強方法だということです。コツコツと積み上げた努力は、いつの間にかはるか高くに達して、のんびりしていた人たちには届かない高さになっているはずです。受講している皆さんはそれぞれの目標を叶えるためにぜひ頑張ってください。

《今後の予定》

- 6月 9日 (土) 定体連仙南大会 (6月11日 (月) 振替休日)
- 6月13日 (水) 避難訓練
- 6月16日・17日 (土・日) 定体連県大会 (6月18日 (月) 振替休日)
- 6月19日 (火) 内科検診
- 6月20日 (水) 定体連報告会
- 6月26日 (火) I 期末考査日割発表
- 7月 3日 (木) ~6日 (金) I 期末考査

いよいよ定体連仙南・県総体です。参加する運動部のみなさんは日ごろの練習の成果を充分に発揮し、全国大会出場を勝ち取ってきてください。全校生徒で応援しましょう。

今月の言葉

たとえ国家が要求しても、
良心に反することをして
はいけない。

これは、かの有名な科学者アインシュタインの言葉です。彼は研究の中で核エネルギーを人類が取り出せるようになること、それが強力な爆弾にもなりうることに気づきました。そしてそれは当時亡命していたアメリカの大統領に伝えられ、作られた原子爆弾は日本に落とされました。アインシュタインは平和主義者で、反対意見を恐れたアメリカは原爆製造のことを彼には知らせませんでした。原子爆弾が作られ使われたことを彼はその後の人生の間中後悔し、あのような惨状が予見できていたにもかかわらずその原理を示してしまった責任を感じ続けました。罪のない人達を傷つけてしまったという深い思いがこの言葉になったのだと思います。ニュースからは立場を守るための作り話ばかりが聞こえて来るような気がする毎日ですが、当事者達はきっと良心がとがめ、これから先もずっと苦しみ続けていくのだと思います。皆さんにはそんな人生は歩んでほしくありません。やっていけないことはしない。当たり前だけれど、生きていくうえで最も大切なことだと思います。